

平成28年2月16日現在

取組名	京丹後木の駅プロジェクト						
同取組みにより製造された製品名	チップボイラー燃料、薪、製紙原料 など						
取組の概要	これまで利用価値のなかった林地残材を有効に活用し、林地残材の出荷量に応じた地域通貨「モリ券」を発行し、市内登録店舗で使用できる仕組みを構築し、森林整備の推進だけでなく地域経済の循環にも貢献しています。						
事業者名 電話番号 担当者	京丹後木の駅実行委員会(京丹後市役所農林水産環境部農林整備課内) 0772-69-0430 農林整備課 藤原						
事業者のホームページ	なし						
原料バイオマスの種類と主な利用内容	分類	原料		利用		備考	
		バイオマス名	分類	製品名等			
	廃棄物系	食品加工残さ	マテリアル系	肥料			
		生ごみ		飼料			
		廃食用油		建設資材			
		下水汚泥		その他(製紙原料)	○		
		家畜排せつ物		エネルギー系	ガス		
		建設廃材			電力		
		製材工場廃材			温水・蒸気		
		その他()			BDF		
	籾がら	ペレット燃料等	○				
	未利用系	林地残材	○	その他()			
竹							
その他()							
事業者からのPR							
<ul style="list-style-type: none"> ・多くの方が山仕事に関わることが出来るようにするために活動しています。 出荷登録者数は増加しています。 30人(平成24年度)→60人(平成27年12月末) 							
<ul style="list-style-type: none"> ・従来と比べて化石燃料から地域バイオマスへの置き換えが進んでいき出荷量は増加しています。 84トン(平成24年度)→237トン(平成26年度) 							
<ul style="list-style-type: none"> ・従来と比べて林地残材の発生が減っています。 同上 							
<ul style="list-style-type: none"> ・地域での地道な活動を行っています。 出荷木材1トン当たり6千円相当の「モリ券」が発行され市内登録店で地域通貨として利用できます。 当プロジェクトでは、安全に森林整備を行うためのチェーンソー講習会を行ったり、ロケットストーブ講習会を実施し、森林資源の有効活用について普及・啓発を行っています。 							